

令和4年度
第1回
入学試験問題

社会・理科

11:00～12:00

注 意

- 1 この問題用紙は、試験開始の合図で開くこと。
- 2 社会と理科のそれぞれの解答用紙に受験番号・氏名を記入すること。
- 3 社会と理科のどの問題から解答してもよい。60分間の時間配分を考え、社会、理科とも時間内に終了できるように解答すること。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入すること。
- 5 印刷がわからない場合は申し出ること。
- 6 試験終了の合図でやめること。
- 7 問題は各自持ち帰ること。

品川女子学院中等部

令和4年度 中等部入学試験問題 第1回 (社会)

Ⅰ 次の問いに答えなさい。

問1 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

漁業が産業として成り立つには、海産物に富む場所（漁場）と、港に適した地形が必要です。日本の太平洋沖は、暖流の（あ）と寒流の（い）がぶつかっているため、優れた漁場になっています。波が静かで船の停泊に適した入り江がある①リアス海岸は、港に適しています。海に囲まれた島国である②日本では、古くから漁業がさかんに行われてきましたが、③近年漁獲量は減少しています。

日本は、アメリカや中国などの国に比べると、面積の小さな国ですが、複雑に入り組んだ海岸線をもっています。日本の海岸線をすべてあわせると、アメリカの海岸線の約1.5倍、中国の海岸線の約2倍に達します。そして、この複雑な海岸線は、人間が住む場所、働く場所、④交流する場所、祈るための神聖な場所など、さまざまな顔をあわせもっているのです。

(1) 文中の空らん（あ）・（い）にあてはまる語句を、それぞれ漢字で答えなさい。

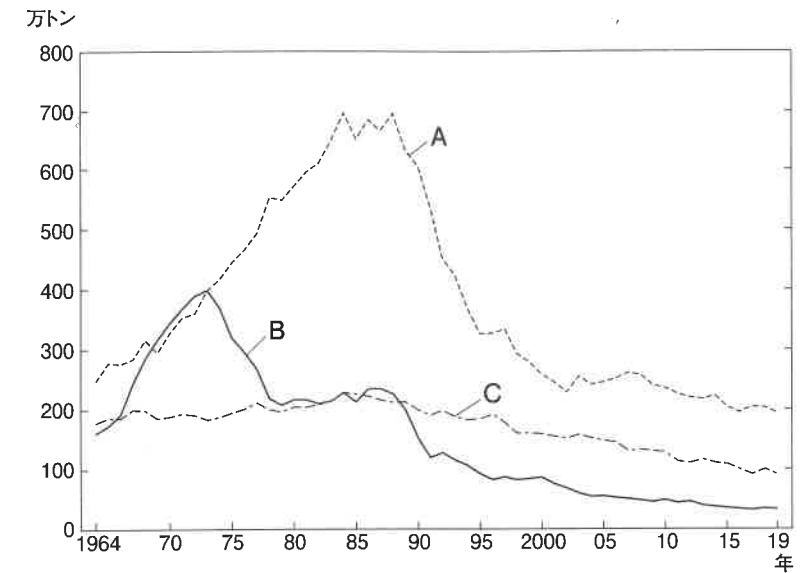
(2) 下線部①が見られる地域として間違っているものを、次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

ア. 宇和海沿岸 イ. 児島湾沿岸 ウ. 志摩半島 エ. 若狭湾沿岸

(3) 下線部②に関連して、近年日本では、「とる漁業から育てる漁業へ」の転換が進んでいます。魚や貝、海藻などを、出荷するまで人の手により、いけすなどの区切られた場所で育ててとる漁業を何というか答えなさい。

(4) (3) のような漁業の発展は、限られた水産資源を守り、生産を安定させるという長所がある一方で、問題点も指摘されています。その問題点を一つあげなさい。

(5) 下線部③に関連して、次のグラフは、1964年から2019年までの日本における漁業の種類別の漁獲量を表したものです。A～Cの漁業を説明したものを、下のア～ウより一つずつ選び、記号で答えなさい。



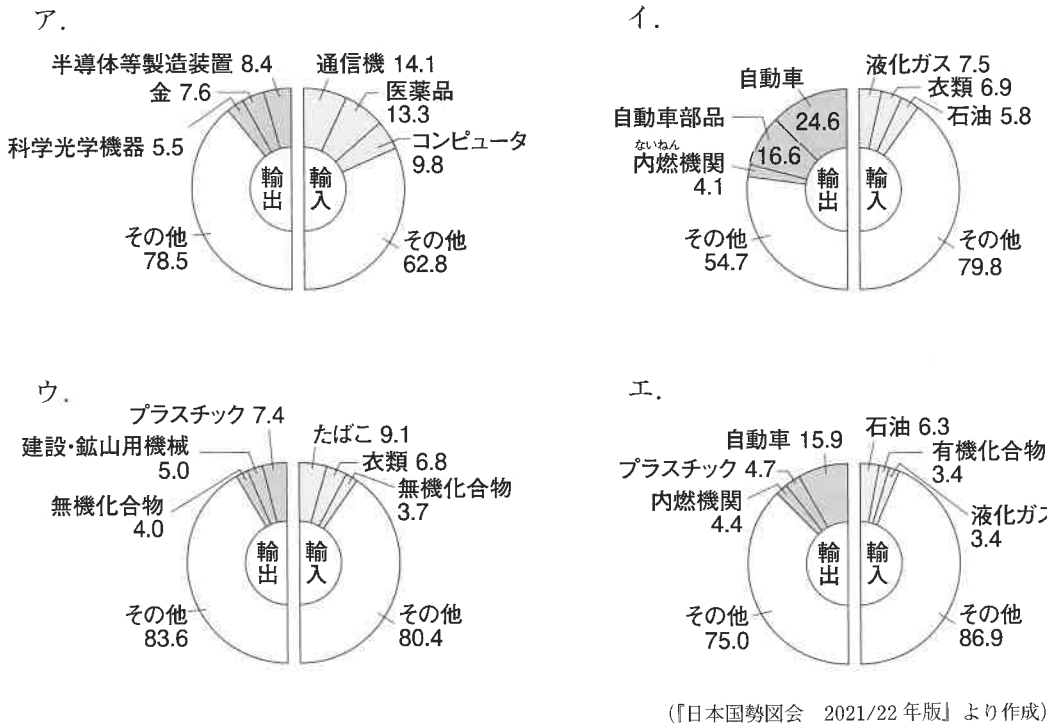
(『日本国勢図会 2021/22年版』より作成)

ア. 小型の船を使い、海岸の近くで行う。

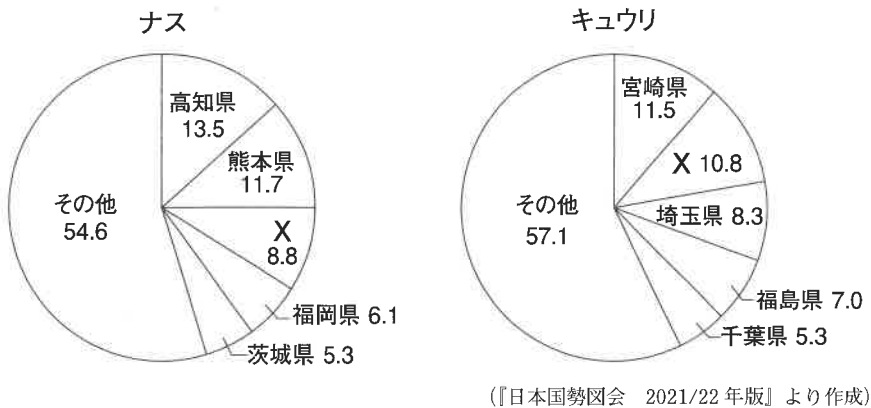
イ. 大型の船を使い、数か月から一年くらいかけて、日本から遠くはなれた海で行う。

ウ. やや大型の船を使い、数日間ほどかけて、海岸から200海里（約370km）くらいまでの海で行う。

(6) 下線部④に関連して、次のア～エのグラフは、日本の貿易港の輸出入額の品目別割合（％）を示したものです（2020年）。成田国際空港を示したグラフとして正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。



(1) 下線部①に関連して、ナスやキュウリは葉が大きく、たくさんの水分が蒸散するため、水やりが重要な野菜です。次のグラフは、ナスとキュウリの総生産量に占める県別の割合（％）を示したものです（2019年）。グラフ中のXにあてはまる都道府県名を、漢字で答えなさい。



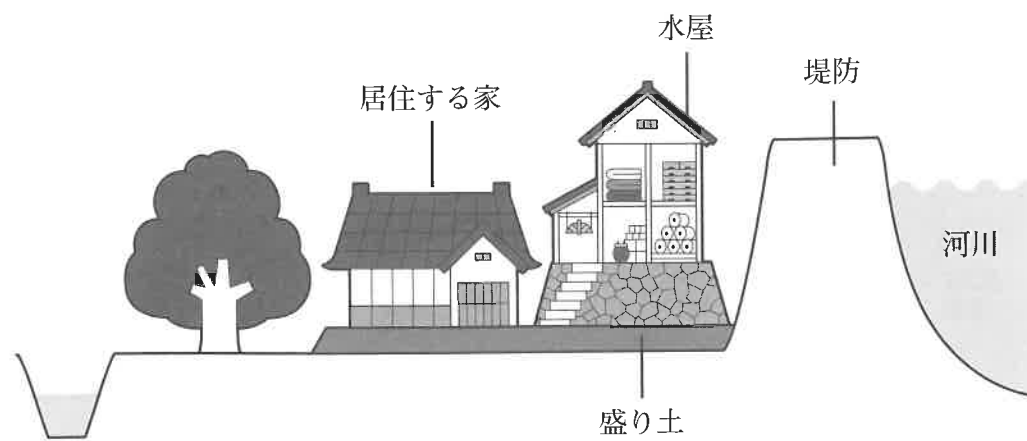
(2) 下線部②に関連して、福島県には、猪苗代湖の水を郡山盆地に送る疎水（用水路）があります。この疎水の名前を漢字で答えなさい。

問2 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

地球の水のほとんどは海水であり、飲み水や①農業用水として欠かすことのできない淡水の割合は大きくありません。さらに、淡水の大部分は極地の氷河や氷として存在し、②湖沼や河川などの水として存在する淡水の量は、地球全体の水の約0.01％です。だからこそ③人間は、貴重な水源である河川のそばに多く暮らしてきたのです。

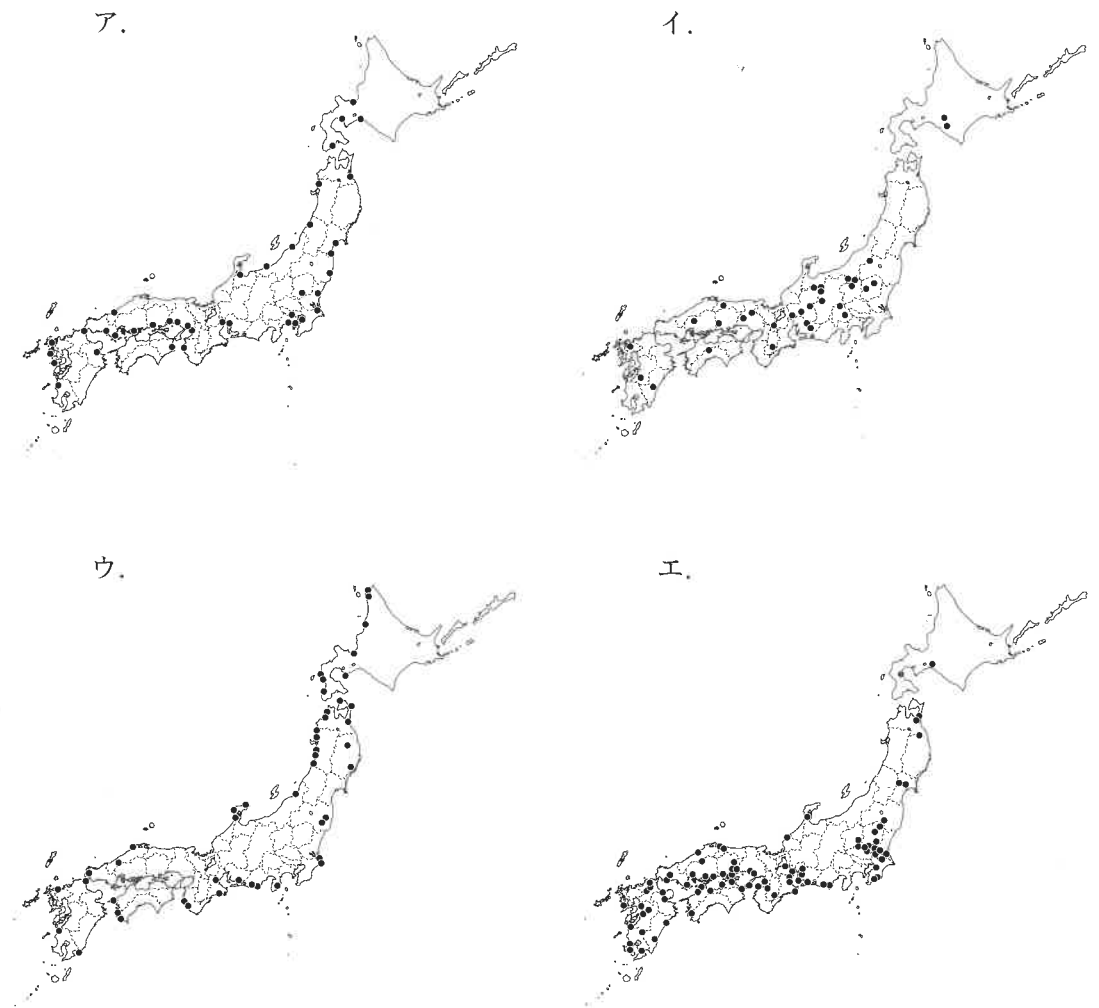
国土の4分の3を山地が占める④日本の河川は水運には不向きですが、現代では工業用水の需要が増大しつづけ、また⑤水力発電にも役立つため、河川的重要性はますます高くなっています。

(3) 下線部③に関連して、次の図は、河川のそばで暮らす地域に見られる洪水への備えをイラストで表したものです。洪水の際に水屋が果たす役割を、その特ちょうをふまえて説明しなさい。



(4) 下線部④について、日本の河川の特徴を一つあげなさい。

(5) 下線部⑤に関連して、次のア～エは、日本のおもな発電所の分布を表したものです。このうち、水力発電所の分布を示したものを一つ選び、記号で答えなさい。



(『電気事業便覧』などより作成)

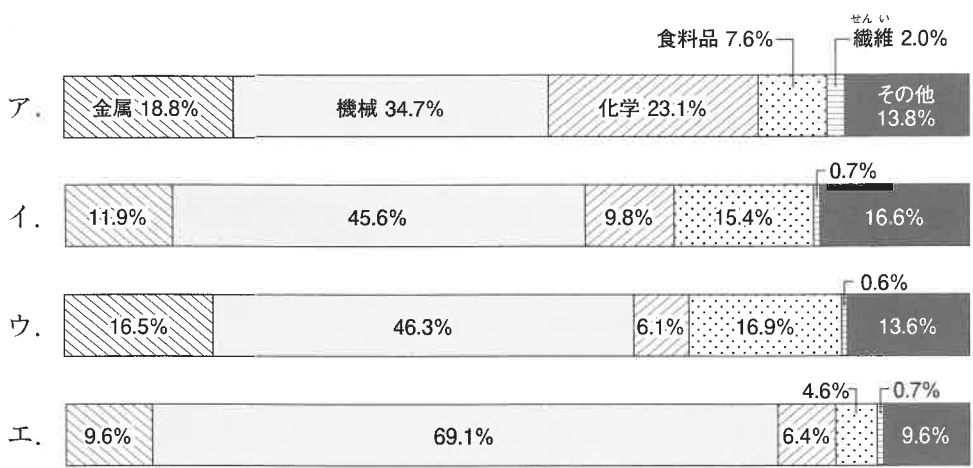
問3 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

①海や河川、湖は、山脈などと同じように、ある地域と別の地域の交通を分断する側面をもっているため、都道府県の境界線（県境）も、これらをもとにして決められていることがほとんどです。

県境が海や河川、湖の上に引かれる場合、通常明確に示されることはありませんが、例外として、②鳥取県と島根県の境界である中海、③青森県と秋田県の境界である十和田湖上には明確な県境が示されています。

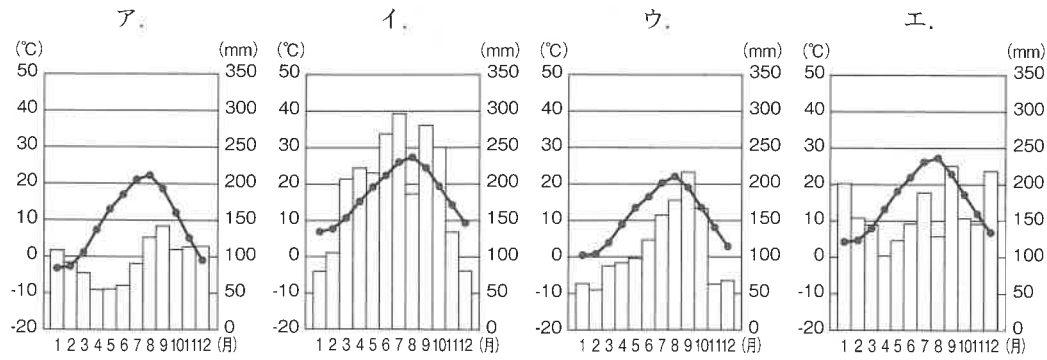
日本には、3つの県境が交わる「三県境」が48か所あるといわれていますが、その多くは高い山の上か水上に存在し、人が容易に立ち入ることができません。ただし、例外もあり、④群馬県・埼玉県・栃木県の3つの県境が交わる地点は平地にあります。

(1) 下線部①に関連して、本州と四国を隔てる瀬戸内海には、沿岸部に工業地域が形成されています。次のア～エのグラフは、北九州工業地域、瀬戸内工業地域、中京工業地帯、関東内陸工業地域の生産額の割合(%)を示したものです(2018年)。瀬戸内工業地域にあてはまるものを一つ選び、記号で答えなさい。



(『日本国勢図会 2021/22年版』より作成)

(2) 下線部②について、鳥取市の気温と降水量のグラフ（雨温図）を、次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。



(気象庁 web ページ統計資料より作成)

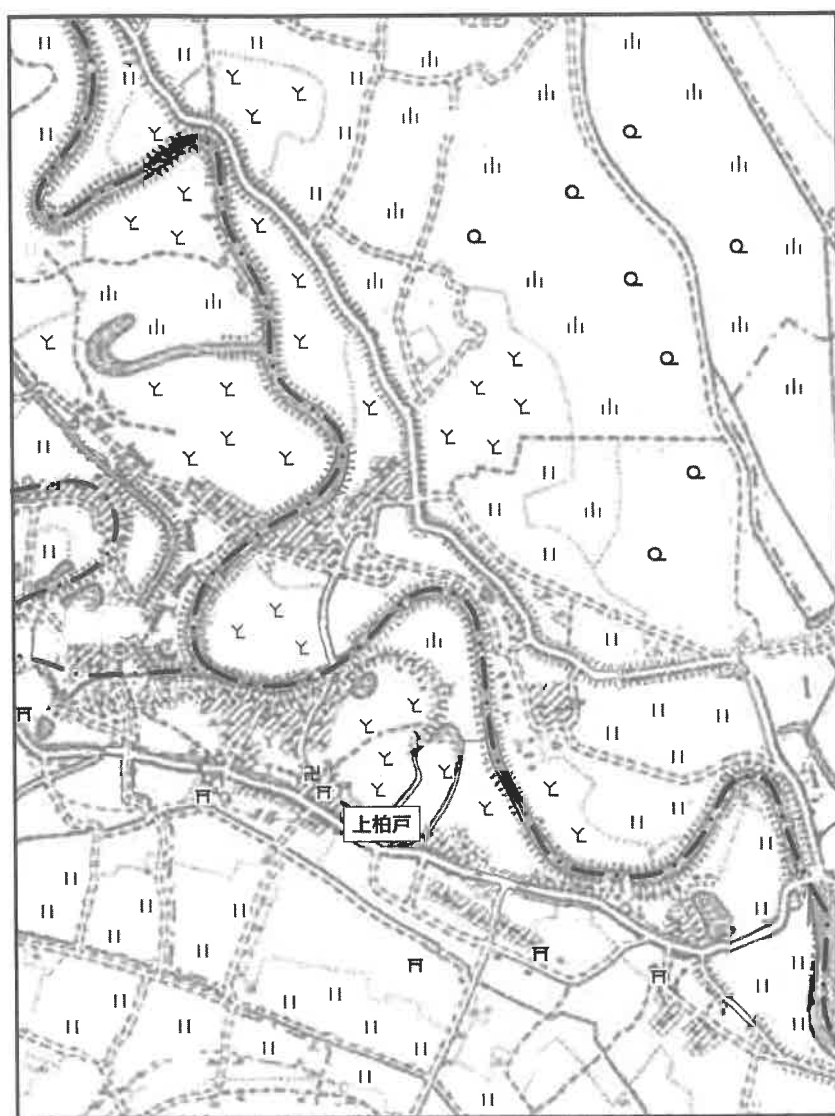
(3) 下線部③に関連して、秋田県と青森県にまたがる白神山地は、世界自然遺産に登録されています。世界自然遺産として最も新しく登録されたものを、次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 屋久島
- イ. 小笠原諸島
- ウ. 知床
- エ. 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島

(4) 下線部④について、この地域を表した、明治40年と現在の下の二つの地形図を比較し、読み取れることとして間違っているものを、次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

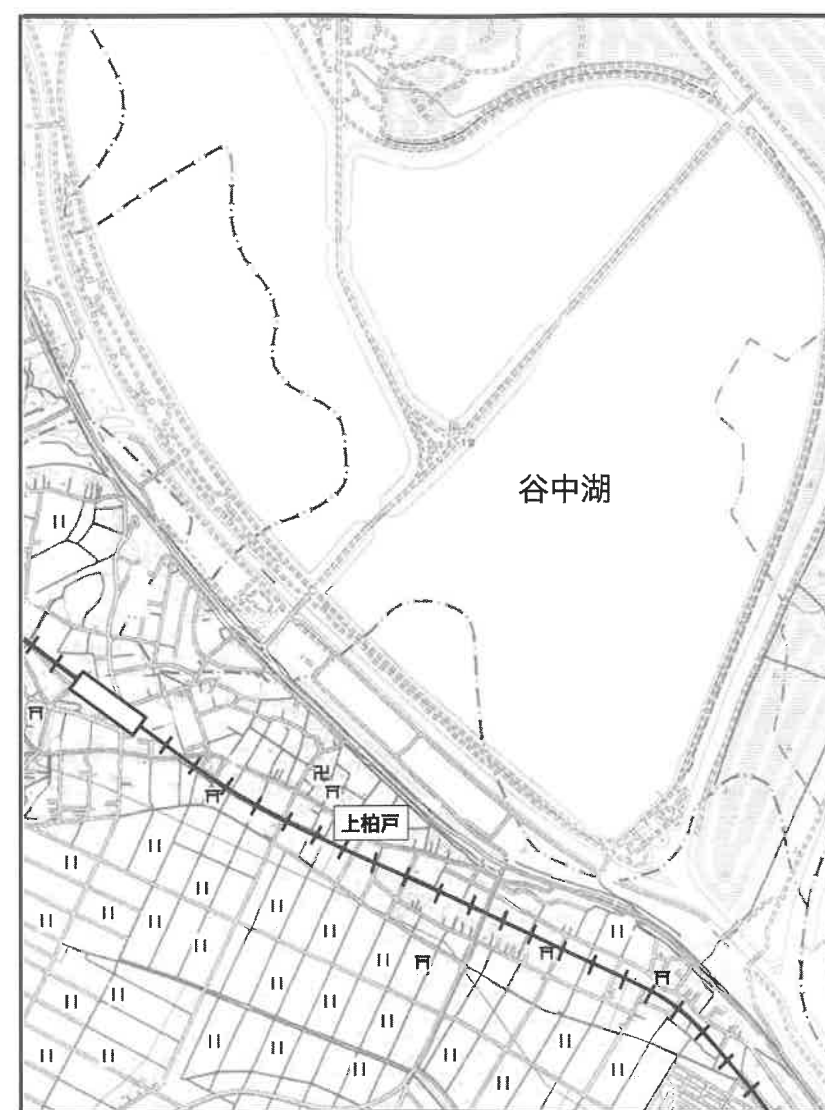
- ア. 桑畑（＼）のあった所が、湖となっている。
- イ. 県境となっていた河川のあった場所に、湖ができた。
- ウ. 「上柏戸」付近の神社や寺院の多くがなくなった。
- エ. 鉄道が敷かれた。

明治40年



(国土地理院発行 50000 分の 1 地形図「古河」を、現在の地形図 (25000 分の 1 地形図「古河」) の範囲にそろえて拡大一部修正)

現 在



(国土地理院発行 25000 分の 1 地形図「古河」一部修正)

【2】 人間が他の動物と異なる点として、「道具をつくることができる」点があげられます。「つくる」ということに注目し、問いに答えなさい。

問1 縄文時代、人々は竪穴住居をつくり暮らしていました。この頃の人々のようすについて述べた文として間違っているものを、次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 交易を行い、物々交換によってたりないものを手に入れた。
- イ. 貝塚に貝がらや、こわれた道具などを捨てていた。
- ウ. 村の指導者を頂点に、身分が形成された。
- エ. どんぐりや、とちの実などをとって、食べ物としていた。

問2 弥生時代の道具について、各問いに答えなさい。

(1) 次のア～ウの道具は、いずれも稲作で使ったものです。稲作の過程ではどのような順番で使いますか。解答らんの矢印にそって、記号で答えなさい。



(2) 次の写真の青銅器を何といいますか。漢字で答えなさい。



問3 奈良時代になると、天皇を中心とした政治体制が整備されました。聖武天皇の日用品などが収められた、正倉院にみられる建築方法を何といいますか。漢字で答えなさい。

問4 紙が貴重品だった奈良時代、木を薄くけずった木簡に墨で文字を書きました（右下の絵）。

次の資料は木簡に書かれた文字の例です。資料を読み、これらの木簡はどのような目的で使われたのか説明しなさい。

〈例1〉

紀伊国 伊都郡 指理郷 白米五斗

〈例2〉

紀伊国 安諦郡 幡陀郷 戸主秦人小麻呂 調塩三斗 天平

注) 紀伊国・・・現在の和歌山県
郡・郷・・・地方区分の単位
斗・・・量の単位



問5 10世紀から11世紀にかけて、国風文化とよばれる文化がさかえました。国風文化がおこった理由を、説明しなさい。

問6 鎌倉時代、モンゴル人の建国した元が日本を攻撃してきました。この戦いに備えて日本側でつくられたものとして正しいものを、次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. てつはう イ. 石塁 ウ. 大宰府 エ. 亀甲船

問7 室町時代、3代将軍の足利義満は、室町幕府の基礎をつくりました。足利義満が行ったこととして間違っているものを、次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 南朝と北朝の対立を収め、内乱を終わらせた。
- イ. 明と勘合貿易を始めた。
- ウ. 京都の室町に「花の御所」をつくり、そこで政治を行った。
- エ. 京都の東山に、書院造を備えた別荘を建てた。

問8 16世紀後半、豊臣秀吉は天下統一を果たしました。豊臣秀吉の政策を説明した文として正しいものを、次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. ますやものさしの基準を統一した。
- イ. 大阪城を中心とした城下町で、商売をさかんにするために座を保護した。
- ウ. 禁教令を出して、ポルトガル船の来航を禁止した。
- エ. 文禄の役や弘安の役で、朝鮮に大軍を送った。

問9 江戸時代、各地で産業が発達し、農作物や工芸品、その他多くの商品が国内を行きかうようになりました。これについて、各問いに答えなさい。

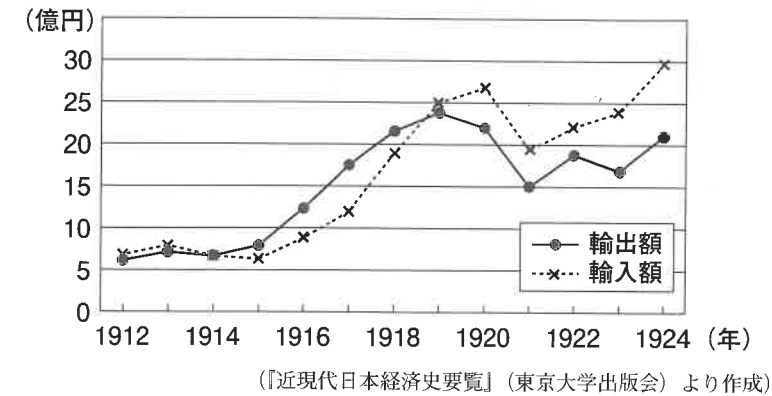
(1) 江戸時代の農業をめぐる状況について述べた文として正しいものを、次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 米と麦の二毛作が始まり、一部の地域では三毛作も行われた。
- イ. 農民を統制するために、荘園ごとに地頭を置いた。
- ウ. 商人が新田開発を進めた結果、年貢による収入が増えた。
- エ. 土地の所有者に対し、地価に合わせた税を納めさせた。

(2) 江戸時代、大阪では蝦夷地のこんぶが流入し、しょうゆで煮て食べる習慣が広まりました。これには、当時の海運が大きく影響しています。大阪にこんぶを運んだ航路を何といいますか。

問10 明治時代、東京の日比谷に鹿鳴館がつくられ、外国の人々を招いて舞踏会が開かれました。このようなことをした目的を説明しなさい。

問11 次のグラフは、20世紀前半の日本の貿易額の変化を表したものです。これを見て、下の各問いに答えなさい。



(1) グラフを説明した文として正しいものを、次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 米騒動が起きた頃、輸出額も輸入額も激減した。
- イ. 関東大震災が起きた頃、輸出額も輸入額も最も多かった時期の半分に減少した。
- ウ. ベルサイユ条約が結ばれた年を境に、輸出額が輸入額を上回るようになった。
- エ. 第一次世界大戦中に、輸出額が初めて15億円をこえた。

(2) 19世紀後半から20世紀前半にかけて、財閥が政府と深いつながりを持って経済を支配しました。財閥にあてはまらないものを、次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 三井 イ. 本田 ウ. 三菱 エ. 住友

問12 1950年代後半から1970年代はじめにかけて、日本は高度経済成長期を迎え、多くの電化製品がつくられました。これらの電化製品の中には、それまでの家事労働の負担を大幅に減らしたものもありました。次の写真は、「三種の神器」とよばれたある電化製品が登場する前に用いられていたものです。これに代わって普及した電化製品は何ですか。



3 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

2024年度に、千円、5千円、1万円の紙幣が一新されることが決まり、準備が進められている。新紙幣には世界初となる偽造防止技術を採用する。

①政府、②日本銀行による今回の紙幣刷新は、③現金を使わない④キャッシュレス決済が急速に広がるなかで実施される。暮らしのなかで現金を使う機会は少しずつ減り、電子マネーによる給料の支払いも解禁され、銀行はATMを減らしている。

いっぽうで、自動販売機の改修なども含めた経済効果は、かつての刷新に比べると限られるとの見方もある。

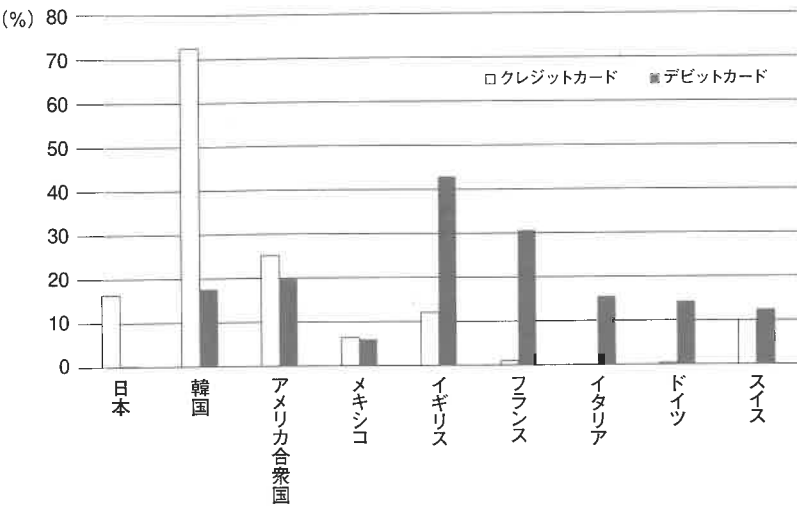
問1 下線部①について、紙幣の製造枚数を決定し、国の税金を集めている省の名前を漢字で答えなさい。

問2 下線部②について、日本銀行の役割として、「紙幣を発行する」「景気対策として金融政策を実施する」があります。そのほかの役割を一つ説明しなさい。

問3 下線部③に関連して、「物々交換」と比べて、お金を使用する利点を説明しなさい。

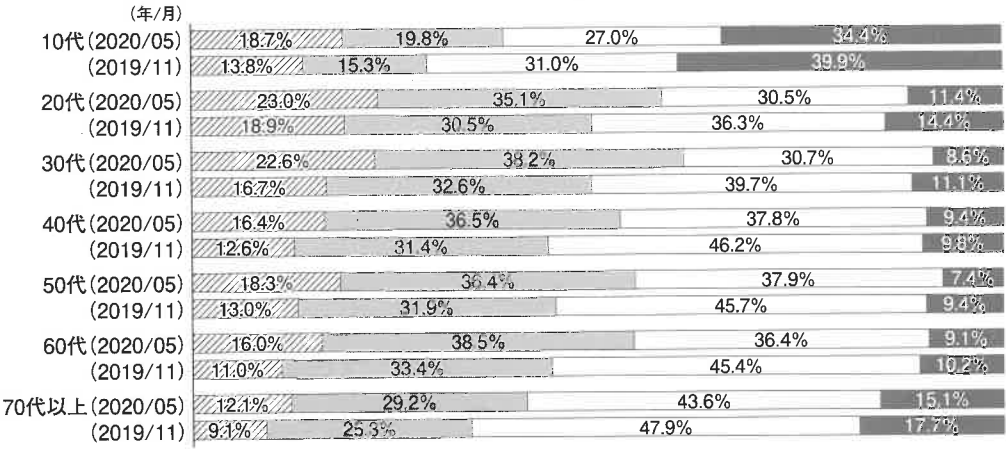
問4 下線部④について、次のグラフⅠ、Ⅱの説明として正しいものを、下のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

グラフⅠ 各国のキャッシュレス手段別民間最終消費支出に占める割合（2015年）



注) クレジットカード・デビットカード…キャッシュレスで用いる決済のためのカード
民間最終消費支出…家計による商品への支出。
(一般社団法人 日本クレジット協会「日本のクレジット統計」2016年版より作成)

グラフⅡ 日本の年代別の支払い手段



ポイント還元事業をきっかけにキャッシュレス支払いを初めて利用した
いままでも利用しており、支払い手段を増やした
いままでも利用していたが、支払い手段は増やしていない
キャッシュレス支払いは利用していない
(一般社団法人キャッシュレス推進協議会「キャッシュレス調査の結果について」より作成)

- ア. 日本は、グラフⅠ中の国の中で、最もキャッシュレス決済の利用率が低い。
- イ. ヨーロッパの国々は、「デビットカード」の利用率の方がどの国も高い。
- ウ. 日本では年代が高くなるほど、キャッシュレス決済の利用率が高い。
- エ. 日本では2019年から2020年にかけて、キャッシュレス決済の利用率はすべての年代で下がっている。

問5 経済を安定させるために、政府や日本銀行は景気対策を行っています。このことについて、各問いに答えなさい。

(1) 不景気のときに一般的に^{いっばん}広くみられる現象を、次のア～オよりすべて選び、記号で答えなさい。

- ア. 失業者が減る イ. 物価が上がる ウ. 生産が拡大する
エ. 消費が減少する オ. 給料が下がる

(2) 不景気のとき政府が一般的に行うと考えられる対策として正しいものを、次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 増税をし、公共事業を増やす。
イ. 増税をし、公共事業を減らす。
ウ. 減税をし、公共事業を増やす。
エ. 減税をし、公共事業を減らす。

【問題は次のページに続きます】

令和4年度 中等部入学試験 第1回(社会) 解答用紙

(注意:※の部分には何も記入しないこと)

1

問1	(1)	あ					い				(2)		
	(3)												
	(4)												
	(5)	A		B		C		(6)					
問2	(1)						(2)						
	(3)												
	(4)											(5)	
問3	(1)		(2)		(3)		(4)						

※1

2

問1		問2	(1)		→		→		(2)			
問3												
問4												
問5												
問6		問7		問8		問9	(1)		(2)			
問10												
問11	(1)		(2)		問12							

※2

3

問1											
問2											
問3											
問4		問5	(1)						(2)		

※3

受験番号					氏名					
------	--	--	--	--	----	--	--	--	--	--

※